



校長通信

令和4年度31号 令和5年3月6日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

日差しが柔らかく、春が確実に近づいてきていることを実感します。卒業式を間近に控え、3年生は、中学校最後の有終の美をかざるべく、元気に勉学に励んでいます。1・2年生は卒業生へのはなむけのメッセージカードを、心を込めて書いていました。卒業式当日、お天気に恵まれてくれることを願っています。



《ゲストティーチャーの特別授業を実施！》

2月27日（月）3年生の英語の授業で、ピアニストで指揮者でもある木谷悦也氏に本校にお越しいただき、特別授業を実施していただきました。授業の題は、「和歌山から世界に羽ばたけ！！ドイツのミュージカル劇場で音楽監督を務めた音楽家が教える語学学習のコツ」です。



木谷氏は、日本の音楽大学を卒業した後、11年間、ヨーロッパ各国で音楽活動を続け、日本帰国後も、地元和歌山を拠点に様々な音楽活動を実践されています。英語はもとより、ドイツ語、イタリア語、フランス語、スペイン語が話せるマルチ・リンガルです。3年生には、中学校を卒業しても、外国語を積極的に学習してもらいたいという私の思いから、特別授業を実施するに至りました。

英語が苦手な生徒にとっては、少し難しかったかもしれませんが、木谷氏の話では、英語は、綴りと発音の関係に例外が多かったり、熟語が多かったりして、他のヨーロッパの言語より難しいそうです。ですから、難しい英語をマスターしたら、他のヨーロッパ言語は簡単にマスターできるので、時間のある今のうちに、英語の勉強をしっかりとしなさいということでした。また、父親を中学時代に亡くした木谷氏は、簡単なことでいいので、今できる親孝行をするよう話されました。

私は、ヨーロッパ言語で、英語が文法的にシンプルなので、一番学習しやすい言語だと思っていましたが、考え方によっては、英語は、他のヨーロッパ言語より難しい言語なんだと気づきました。見方を変えれば、日本人は、日本語をあたりまえのように話しますが、漢字、ひらがな、カタカナと3種類の文字を使うので、外国の方にとって日本語は、かなり難しい言語なのかもしれません。

いずれにせよ、外国語を使えたら、世界が広がるし、視野も広がるので、英語の勉強をがんばってほしいと思います。ちなみに、和歌山が誇る音楽家・木谷悦也氏は、私の中学・高校の同級生です。ありがとう、木谷！